

令和7年度 小野市 認知症地域支援推進員活動報告

認知症地域支援推進員について

1 認知症地域支援推進員：4名

2 認知症地域支援推進員の役割

認知症の理解や対応力向上のための支援

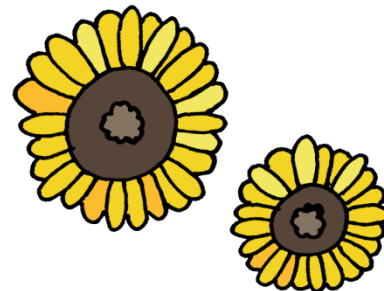
- ・新しい認知症観の普及啓発
- ・認知症サポーター養成講座の開催
- ・介護予防等他の事業と連携した認知症予防に関する普及啓発

地域における認知症の人やその家族の支援体制の構築

- ・もものわ交流会の実施（認知症の人と家族の一体的支援プログラム）
- ・「チームオレンジおの」活動支援
- ・絆カフェの継続支援

地域の関係機関との連携

- ・医療機関や介護サービス提供事業者との連携
- ・認知症初期集中支援チームとの連携



報告者氏名：認知症地域支援推進員 小野市地域包括支援センター 今枝陽子

小野市 認知症施策全体図

本人の発信支援と認知症理解のための普及・啓発

- ・ 認知症サポーター養成講座
- ・ 認知症キッズサポーター養成講座
- ・ 出前講座（認知症について）
- ・ 高齢者外出見守り模擬訓練
- ・ 認知症に関する推薦図書の掲示
- ・ 認知症相談センターの周知
- ・ 本人や家族のメッセージ発信

認知症予防施策の推進

- ・ 通いの場の啓発活動（いきいき100歳体操）
- ・ 認知症予防につなげるための取り組み支援（「おの楽しく体操」DVDレンタル、脳トレテキスト配布）
- ・ 出前講座（認知症予防）
- ・ 認知症ケアネットガイドブックの活用

医療・ケア・介護サービス・介護者の支援

- ・ 認知症初期集中支援チームによる支援
- ・ 在宅医療・介護連携推進事業
- ・ もの忘れ外来や認知症疾患医療センターへの受診勧奨
- ・ 絆カフェ（認知症カフェ）の啓発及び活動支援
- ・ 家族介護者の会（ほのぼの交流会）における相談支援
- ・ 小野市もの忘れ検診
- ・ 認知症ケア向上推進事業

若年性認知症施策の強化

- ・ 認知症相談センターの設置
- ・ 認知症疾患医療センターとの連携
- ・ 若年性認知症支援コーディネーターとの連携
- ・ 本人の社会参加活動支援

認知症バリアフリー推進と社会参加支援

- ・ 「認知症バリアフリー」の推進
- ・ 高齢者外出見守り事前登録制度
- ・ 認知症高齢者等見守り機器購入費等助成事業
- ・ 認知症の人と家族の一体的支援プログラム（もものわ交流会）
- ・ 広報誌への情報掲載

もものわ交流会の実施（認知症の人と家族の一体的支援プログラム）

・ 認知症の人と家族の一体的支援プログラムとは

《目的》

認知症の**本人と家族がともに活動**することで、お互いの**思いを共有**したり、他の家族と交流する中で、より良い**関係性のあり方に気づく**ことができ、これからも**希望する在宅生活を継続**することができる。

本人支援

- ・本人同士が語り合う場作り
- ・閉じこもり予防
- ・本人主体の活動を行うことにより、自信が生まれる
- ・新たな役割創出

家族支援

- ・相談援助による心理的支援
- ・情報提供
- ・介護負担感の軽減
- ・介護を肯定的にとらえる機会となる

一体的支援

- ・ともに活動することで新たな気づきを得る
- ・他の家族や地域との交流の中で、新たな出会いが生まれる
- ・お互いの学びの場となる

もものわ交流会の実施

・認知症の人と家族の一体的支援プログラムを実施するにあたっての思い

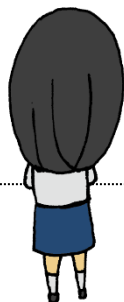
認知症の人たちが
気軽に集まれる場が
あればいいなあ…

若年性認知症の方
は、困っていない
のかな？

認知症になっても
社会参加を続けて
ほしい

本人発信できる人
いないかな？
(思いを聞きたいな)

家族介護者の会は
あるけど、認知症
の家族の会はない



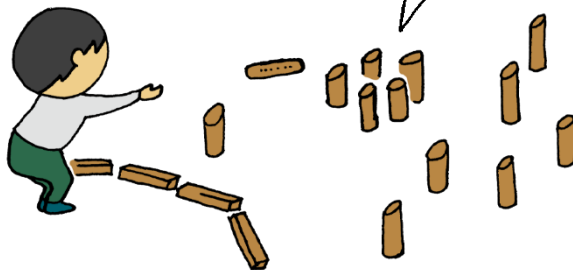
もものわ交流会の実施

• こんなことやりました

12月
クリスマス会



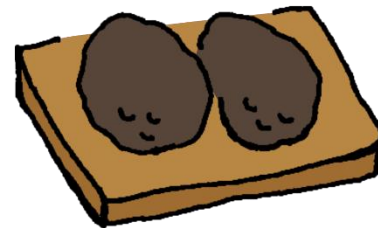
10月 運動会で
モルックに挑戦



6月
七夕の飾りつけ

7月
かき氷作り

9月
おはぎ作り

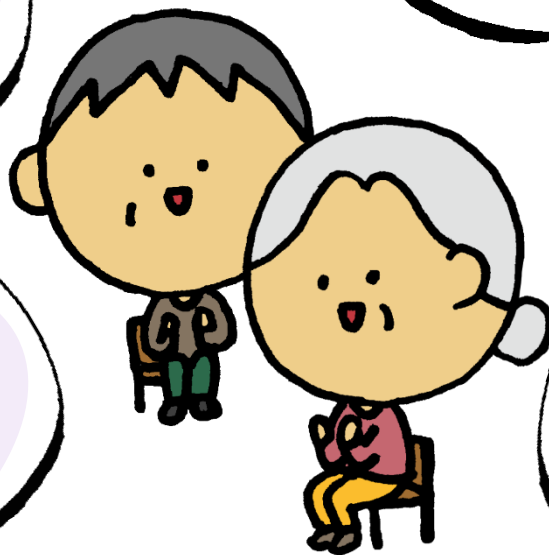


もものわ交流会の実施

• 参加者の声を聞いてみました

みんなで歌ったり
運動したりする機会、
普段あまりないから
楽しかった
(ご本人)

家とは違う顔が
見られてよかったです
(ご家族)



同じような境遇の人と
話ができよかった
(ご家族)

いろんな話ができ
楽しかったです
(ご本人)

• 最後に・・・

認知症地域支援推進員としての思い

- もものわ交流会（認知症の本人と家族の一体的支援プログラム）が始まり1年が経ちました。まだまだ手探りの状態ですが、定期的に参加してくださる人も増え、みなさん楽しく過ごされています。これからは、もものわ交流会の周知にも力を入れ、『認知症になってもこれまで通りいきいき暮らせる』人を増やせるように頑張りたいです。
- 認知症に対する関心は高まっていますが、新しい認知症観についてはまだまだ周知されていないと感じます。
新しい認知症観について、皆さんに知ってもらえるように、普及・啓発していきます。

